

令和8年度労働安全衛生講習会開催報告

総務財經委員会

関西地質調査業協会では労働安全衛生事業の一環として、「労働安全衛生講習会」と「救急・救命講習会」を隔年毎に実施しており、令和8年度は6月17日（水）に大阪科学技術センターの404会議室を会場とし、下記内容の「労働安全衛生講習会」を開催致しました。

- 1、開催日時：令和8年6月17日（水）14:00～16:30
- 2、開催会場：大阪科学技術センター 4階 404会議室
- 3、講師：産業保健総合支援センター 産業保健相談員
株式会社豊川産業医事務所 所長 豊川彰博 様
演題 「熱中症～メカニズムと予防～」

講師：近畿地方整備局 企画部 技術調査課長 井上貴嗣 様
演題 「直轄工事における事故発生状況及び事故防止に関する留意事項について」

- 4、参加者数：協会員 57名

本年度の「労働安全衛生講習会」には、協会員57名が参加して、近畿地方整備局並びに産業保健総合支援センター関係者を講師にお招きして「熱中症～メカニズムと予防～」について講習を実施しました。



Ph-1 満席の講習会会場風景



Ph-2 開会挨拶 大久保副理事長

まず、産業保健総合支援センターの豊川彰博様より、「熱中症～メカニズムと予防～」として職場における熱中症の発生状況や熱中症の要因とメカニズム及びその対策方法についてご説明いただきました。また、厚生労働省の熱中症ガイドにて熱中症に対する対応方法について詳しくご講演いただきました。このご講演では、地質調査業界の最前線で活躍する方々が直面する危険に対し、

改めて考えなければならないことを痛感し、熱中症がいかに恐ろしく危険な状態であるかを考えるための絶好の機会となりました。また、熱中症になってしまった時の対処方法を知ること、熱中症の患者が発生してしまった場合でも適切な対応を行うことができると感じました。

次に、近畿地方整備局からは企画部の井上貴嗣技術調査課長より「直轄工事における事故発生状況及び事故防止に関する留意事項について」ご講演を頂きました。内容は（１）全国の労働災害の発生状況、（２）直轄工事における事故の発生状況、（３）近畿地方整備局管内の事故発生状況、（４）近畿地方整備局の事故防止重点対策項目、（５）近畿管内の事故事例、（６）その他、連絡事項の６項目についてご講演いただきました。

直轄工事における事故発生状況では、様々な角度から事故のデータを分析されており、特に事故が発生しやすい時間帯などについてご説明いただいたことで、現場の安全管理に役立てることができると感じました。また、近畿地方整備局の事故防止重点対策の５項目について、発生した事故事例を交えながらご説明いただいたため、非常に分かりやすく理解する事ができました。事故防止に対する取り組みについては、労働災害の８割はヒューマンエラーがらみで発生している実態を説明され、このヒューマンエラーを防ぐためには、安全設備面の対策や現場の安全管理活動を充実させることが対策となることをお教えいただきました。このことについては我々地質調査業においても日頃より安全について考え、適切な対策を講じることが必要であることを痛感しました。

本日の講習会場はほぼ満席の参加者で埋まり、いずれの講習も真剣に聞き入る聴講者の姿が目につき、各自のスキルアップだけでなく、各社の職場に持ち帰って行う労働安全衛生活動にも役立つ有意義な講習会でした。



Ph-3 講演中の豊川彰博様



Ph-4 公演中の井上貴嗣様



Ph-5 閉会挨拶 高松総務経費委員長